

平成23年度 事業報告

1. 実施事業

- (1) 新宿区立障害者福祉センター
- (2) 新宿区立あゆみの家
- (3) 福祉ホーム「あじさいホーム」
- (4) 福祉ホーム「ひまわりホーム」
- (5) ケアホーム「ぼけっと」
- (6) 居宅介護・移動支援事業「ステップ」

2. 個別事業の報告

(1) 新宿区立障害者福祉センター

①機能訓練

(1) 登録者及び利用者総数

項目	のべ登録者数			新規・終了数		のべ利用者数	1日当たりの利用者数
	男	女	計	新規	終了		
利用者数	47名	25名	72名	21名	11名	2,809名	12名

○館外訓練等 *講演会 2月13日 笑いヨガ 60名参加

(2) 平成23年度の機能訓練事業の重点的な取り組みについて

重点的な取り組み	達成度・成果
<ul style="list-style-type: none">・積極的な情報収集とPR・機能訓練終了者の福祉用具、装具などの相談内容の充実・生活支援から就労支援までのサービス提供の充実	<ul style="list-style-type: none">・デイ、医療機関など関係機関との連携から、新規利用の増加・退院前に医療機関との情報共有を行い、途切れない支援を実施・医療機関では機能訓練日数短縮により自立に至っていない利用者に対し、様々なニーズに応じた生活支援・就労支援を実施。

まとめ

年度後半より、「介護保険通所介護、通所訓練事業との併用不可」を発症間近、個別訓練により機能回復が見込まれる場合、条件により併用可能とした。相談・紹介・利用者の増加により、関係機関との連携も「顔の見える関係」へと強化し、個別性の高いサービスの提供に効果をあげた。訓練室で相談を待つから、積極的に自宅へ家屋評価に出向く、病院へ情報共有に行くなどの近年の効果も現れている。

②多機能型事業

事業概要

活動場所	あすなろ作業所	新宿トライ工房
活動日時	月～金曜日、午前9時30分～午後3時30分	
利用対象	就労継続支援B型および生活介護を受給、利用契約を締結した者	
事業内容	①製品製作と販売による就労機会の提供	①製品製作と販売による就労機会の提供
	②受注作業による就労機会の提供 ・会報等の印刷製本、年賀状の印刷等	②受注作業による就労機会の提供 ・緑化推進事業（新宿区委託契約）

	・緑化推進事業（新宿区委託契約）	
	◆作業工賃の支給実績（事業所全体） 目標額 3,024,000円 ⇒ 実績額 3,031,006円 内訳 ○就労継続支援B型事業 工賃支払総額：1,808,017円 1人あたり：平均10,945円（月額） ○生活介護事業 工賃支払総額：1,222,989円 1人あたり：平均10,131円（月額）	
	③自己啓発や余暇活動 ・自主学习・自立支援プログラム ・日帰りレクリエーション、研修旅行	③自己啓発や余暇活動 ・自主活動・クリエイション ・リーダー会・日帰りレク、研修旅行
	④社会適応能力の獲得のための活動 ・区役所等インターシップ、ふらっと新宿、福祉ショップ等、施設外での就労体験 ◆施設外での就労体験や職場実習の参加者 目標 延べ参加者数451名 ⇒ 実績 延べ参加者数668名	
	⑤社会参加による自立の促進の活動 ・ふれあいフェスタ、福祉施設共同バザール、わいわい福祉フェスタ等 ◆地域イベントへの利用者の参加者数 目標 延べ参加者数180名 ⇒ 実績 延べ参加者数184名	
	⑥利用者ニーズの把握と計画的な支援 ・個別支援計画の作成や運用・就労支援プログラム開発や支援の専門性の強化	
	⑦利用者の障害状況やニーズの変化に適切に対応するための職員の援助技術の向上 ・健康管理を進めるため機能訓練室との連携強化。 ・高齢化、重度化にあわせた創作活動、体調に合った作業形態の提供。	
	⑧情報収集及び情報発信 ・運営の透明化、ホームページ作成や情報紙発行による情報発信の拡充。	

まとめ

高齢化、重度化に伴い健康に対する意識や知識の向上、利用者の相互理解のための勉強会や作業形態の実施に向けたアンケート調査を行った。

③視覚障害者通所訓練

利用者数

()は障害者の利用者数

サービスデイ		訓練マッサージ		合計		1日当たりの利用者数
実施日数	利用者数	実施日数	利用者数	実施日数	利用者数	
97日	323名	192日	584名	289日	907名 (311名)	3.1名

まとめ

一日あたりの利用者数は平均3人以上で、利用は増加しているが、開所日も多いため一日あたりの利

用者数は減少傾向にあるが、安定的な実績を積んでいる。

④手話講習会

受講者数

コース名	定員	応募者数	受講者数	のべ参加者数	修了者数	修了率
初級	60	59	56	1,483	35	62.5%
中級	40	38	36	1,003	24	66.7%
上級	20	26	21	645	17	81.0%
通訳	10	11	10	365	8	80%

まとめ

昨年度の全受講者数144名から今年度は123人と、若干利用者の減少。初級は、受講生が減ったものの、修了率は向上。上級以上になると学習意欲が高くなり、比例して修了率も高くなっている。

⑤講座・講習会事業

講演会・行事

実施日	テーマ・講師	参加者
2月4日	聴覚障害者向け講座「消費者犯罪に遭わないために」	11名
10月30日	センター祭	2,400名
12月5日	「フラメンコショータイム」	67名

まとめ

昨年度の延べ参加人数3,475名から微増の3,528名となった。継続して安定的な評価を受けている。

⑥高次脳機能障害者支援事業

平成23年度の重点的な取り組みについて

重点的な取り組み	達成度・成果
他機関との連携	複数施設の利用も増え、施設間の情報共有を行った。社協主催の高次脳機能障害関連施設の連絡会へ参加し、事例検討を通じて、会の有効活用が今後の課題。
家族支援	新規の利用者を中心に、活動の様子の情報共有などを図った。新宿区高次脳機能障害者友の会と家族のニーズとこちらで提供できることを確認した。

講演会

実施日	テーマ・講師	参加者
10月13日	「こども・若年の高次脳機能障害」	32名

まとめ

新規利用者増に伴い、社会参加・社会復帰への取り組みが求められ、ニーズが多様化。利用者個々の状況・力量に応じて必要な支援や連携が異なり、竹とんぼの支援だけでは対応が難しくなり、病院や他事業所、様々な職種の連携が求められている。

⑦入浴サービス

事業実績

	利用者数	実施日数	延べ利用者数	1日当たり
入浴サービス	11名（新規6：男5、女2）	258日	348名	1.3名

まとめ

前年度の実施日数189日に比較し、69日増となった。週1回とした入浴サービスの利用制限を緩和し、生活状況嘱託医等専門職を交え、必要に応じ2回利用も可とした。福祉用具も購入し、安全な入浴の設備整備も行った。柚子湯や蓬湯など、季節にちなんだ湯のサービスを実施した。

⑧給食サービス

事業実績

	利用者数	実施日数	延べ利用者数	1日当たり
給食サービス	71名(新規5:男43、女28)	247日	8,278名	33.5名

まとめ

栄養士を交え献立会議を実施し、給食サービスの利用者も参加し意見を聞く機会を設けた。

⑨短期入所事業(短期入所及び日中ショート)

利用実績

契約者数	延べ利用者数			利用日数	緊急利用日数	日中一時支援利用者数
	男	女	合計			
119名 (新規12名)	111名	108名	219名	613日 (体験利用10日)	144日	14名 (のべ103日)

まとめ

改修工事により、当該期間はショートステイの受入を中止したが、利用日数は昨年度より増加している。緊急利用は、必然性を勘案し2床目を開放したケースも144日と、昨年の73日から倍増した。日中一時支援の利用も昨年度比で2倍超となっており、利用増が顕著となっている。

⑩障害者相談支援事業

相談実績

①相談者

	当事者	家族	関係機関	その他	合計
一般相談	176	36	71	3	286
ピアカウンセリング	82	93	12	0	187

②障害の種類

	肢体	視覚	言語聴覚	内部	重心	知的	精神	発達	高次能	その他
一般相談	102	14	13	6	1	19	92	5	20	14
ピアカウンセリング	1	75	25	0	0	86	0	0	0	0

講演会

実施日	テーマ・講師	参加者
7月30日	障害者と災害 ～阪神大震災から学んだこと～	52名

情報誌「m o i」の発行 6月、9月、12月、3月の4回(1,600部)発行。

まとめ

相談は電話、来所などセンター内で対応したが、来所困難も多く、アウトリーチ対応を実施した。

⑪居住サポート事業

利用実績：7件

まとめ

機能訓練事業利用者1名、1人暮らしまでのサポートを完結した。生活福祉課、障害者福祉課、本人

を交えての生活相談及び住宅課、不動産屋との連絡調整を同項にて実施した。

⑫社会資源活用促進事業

利用実績

実施内容	対象／実施場所 他	詳細
ボランティア	学生・社会人等一般	11名
介護体験	大学	7名
体験学習	都立高校	31名
社会福祉士実習	専門学校など	7名
介護福祉士実習	専門学校など	12名
作業療法士実習	大学など	3名
言語聴覚士実習	大学など	2名
その他の実習	大学など	2名
見学・視察	一般、特別支援学校など	33名
わいわい福祉 フェスタ	主催：障害者福祉センター 新宿区社会福祉協議会 若松地区協議会	地域コミュニティ活性化のため、障害者だけでなく、高齢者、子育て支援などの団体が参加。 出展団体関係者150名（過去最大） 参加者約600名

まとめ

障害の方への日中活動の一部を支えることと別に、様々な社会資源との橋渡しを通じて、高いQOLを実現する支えとなる。実習は一定の評価が必要となるため、一連の業務を標準化するための外部研修に参加させた専門の職員を中心に特命チームを置き、受入から監督、終了後の適切な評価を実施。

⑬その他サービス向上の取り組み

館長への直行便の受理件数：7件（利用者から口頭等での申し出も含む）

避難訓練ほか：年2回、備蓄物資の確保、民生委員と等災害弱者登録者名簿の普及と運用意見交換

（2）新宿区立あゆみの家

- ・平成23年8月1日付で指定管理者選定結果の指定管理者として指定を受ける。
- ・平成23年10月31日付で新宿区立あゆみの家指定管理者移行準備委託契約を結び、11月1日から下記内容の移行準備。
 - （1）指定管理者に関する基本協定及び平成24年度年度協定の締結
 - （2）利用者の生活支援、作業指導、健康管理その他利用者支援に関する引き継ぎ
 - （3）平成24年度利用者個別支援計画の策定
 - （4）平成24年度事業計画の策定
 - （5）保護者会、グループ会議等への参加
 - （6）建物管理に関する引き継ぎと再委託業務の契約準備
 - （7）事業者変更に伴う区関係部局、関係機関、地域等の調整・協議、各種届出事務
 - （8）その他、あゆみの家管理移行のために必要と認められる業務

実施結果

- （1）指定管理者に関する基本協定及び平成24年度年度協定の締結

指定管理に関する法人の事業提案書に基づいて事業内容及び予算について協議を重ねて、基本協定及び年度協定を4月1日付で締結した。

(2) 利用者の生活支援、作業指導、健康管理その他利用者支援に関する引き継ぎ準備期間の職員配置は以下のとおり行った。

	配置の内訳	人数	任用条件		
1 1 月	サービス管理責任者	1 名	介護福祉士、保育士の資格者でサービス管理責任者研修の修了者。		
1 2 月	グループリーダー	4 名	介護福祉士又は保育士の資格を有し実務経験5年以上の者。実務は、生活介護又は福祉ホームの実務経験。		
● 1 1 月～1 2 月の職員配置数：5 名					
1 月	施設長	1 名	業務を統括し、社会福祉事業施設長又は指定管理業務の実務経験者。		
	サービス管理責任者	1 名			
	グループリーダー	4 名			
	サブリーダー	4 名	介護福祉士、保育士、ヘルパー2級以上の有資格者。又は、障害者福祉施設等でサービス提供の実務経験者。		
	生活支援員	8 名	介護福祉士、保育士、ヘルパー2級以上の有資格者。又は、障害者福祉施設等でサービス提供の実務経験者。		
	看護師	4 名	障害者に対する健康管理と医療的ケアに関する業務ができる者。		
	管理課長	1 名			
● 1 月の職員配置数：23 名					
2 月	施設長	1 名	サービス管理責任者	1 名	
3 月	グループリーダー	4 名	サブリーダー	4 名	
	看護師	4 名	生活支援員	18 名	
	管理課長	1 名	事務員	1 名	
● 2 月、3 月の職員配置：34 名					

(3) 平成24年度事業計画の策定

指定管理の提案書に基づいて事業計画に関する協議を新宿区と行った。全保護者を対象に「実施計画に関するアンケート」を実施して保護者の要望や意見を加味して業計画を作成した。

業務引き継ぎ委託に伴う委託料の執行状況は、以下のとおりであった。

(単位：円)

科目	契約額	執行額	主な執行内容
1. 人件費	35,859,259	33,121,337	
職員俸給	20,160,357	19,409,687	11月・12月が5名、1月が23名、2月・3月が34名を配置
職員諸手当	11,142,915	9,135,487	職能、家族、住宅、通勤、夜勤、時間外手当等
法定福利費	4,555,987	4,576,163	健康保険料、厚生年金保険料、児童手当拠出金、労働保険料
2. 事務費	300,000	614,814	流用額：314,814
消耗品費	160,000	257,154	事務用品、郵券、印紙、デジカメ、パソコンリース、消耗品等
研修費等	140,000	357,660	研修受講料、合宿日当、旅費、振込手数料、パソコンソフト
3. 合計	36,159,259	33,736,151	返還額：2,423,108

ショートステイ事業

利用実績

登録者数	利用者数			のべ利用 日数	昼間利用者数
	男	女	合計		
154名 (男84名女70名)	14名	12名	26名	173日	15名 (男2名 女13名) (のべ104日)

(3) 福祉ホーム「あじさいホーム」

【運営方針】

入居者一人ひとりに必要な福祉、医療のサービスを継続的に提供し、生活全般にわたる支援を行い、笑顔絶えない生活環境を目指します。

○実施報告

開設から10年以上が経過し、建物や設備に関して諸処に不備が生じた。

職員配置

平成23年3月末現在

職種	常勤(人)	非常勤(人)	合計員数	資格等
施設長	1		1	介護福祉士
生活支援員	1		1	介護福祉士
生活支援員		10名	常勤換算1.6	

ホームヘルパー制度の活用

障害者自立支援法の障害者福祉サービスの居宅介護と地域生活支援事業の移動支援を利用した。NP
○法人フットワーク新宿よりヘルパーを派遣した。

借入金の償還

平成23年度償還額 単位：円

	元金	利息	
独立行政法人 福祉医療機構	1,840,000	295,034	利息については、東京都(保健福祉財団)が補填
東京厚生信用組合	2,377,673	843,115	

健康管理

平成23年度は、あらたに新宿区障害者施設医療的ケア体制支援事業により、24時間体制で訪問看護ステーションの共同体とで、日常的に医療的ケアを実施できる体制を整備し、介助職員に対しても医療的ケアの知識、技術を習得する場を提供し、質の高い医療的ケアが提供できるように努めた。また、医師や看護師などの医療的関係者だけでなく、通所先などの福祉関係者とも連携を図ることで、総合的な支援体制を確立してきた。

地域交流・イベント・防災訓練など

外食会、地域行事への参加などを充実させた。大震災を想定し、避難訓練を実施し、備蓄品の確保に努めた。

(4) 福祉ホーム「ひまわりホーム」

【運営方針】

入居者一人ひとりが毎日を健康に過ごし、通所先に元気に集い、社会参加できる喜びを常に持ち続けられるよ

う生活全般にわたって支援します。

○実施報告

入居者は言葉によるコミュニケーションが難しい方が大半をしめているため、表情、動作、発語等に留意し入居者の意向を汲み取った支援に努めた。日々の生活では、個別支援・外出計画等生きいきとした生活の場となるような支援に努めた。

職員配置

平成23年3月末現在

職種	常勤(人)	非常勤(人)	合計員数	資格等
施設長	1		1	介護福祉士
生活支援員	1		1	介護福祉士
生活支援員		8名	常勤換算1.3	

ホームヘルパー制度の活用

障害者自立支援法の障害者福祉サービスの居宅介護と地域生活支援事業の移動支援を利用した。法人の介護派遣事業所「ステップ」よりヘルパーを派遣した。

地域交流・イベント・防災訓練など

ボランティアが参加するイベントを充実させた。数名に別れての年間外出も実施。大震災を想定し、避難訓練を実施し、備蓄品の確保に努めた。

健康管理

あじさいホーム同様、あらたに新宿区障害者施設医療的ケア体制支援事業により、24時間体制で訪問看護ステーションの共同体とで、日常的に医療的ケアを実施できる体制を整備し、介助職員に対しても医療的ケアの知識、技術を習得する場を提供し、質の高い医療的ケアが提供できるように努めた。

(5) ケアホーム ぽけっと

【運営方針】

個々のライフスタイルを尊重したクオリティの高い支援を行います。

○実施報告

昨年度、ご両親がなくなったため後見人をつけた方がいた。発作が多発した方や、感情の起伏が激しくなった方などがいたので、往診の医師と連携し、薬の調整をする機会が多くなってきた。「ひやりはっと」を活用し記録を残し、関係者との連携も図った。

職員配置

平成24年3月末現在

	サービス管理責任者	世話人	生活支援員	その他の職員
常勤専従		2		
常勤兼務			1	
非常勤			10	1

※世話人のうち1名がサービス管理責任者も兼務

ホームヘルパー制度の活用

障害者自立支援法の障害者福祉サービスの居宅介護（通院介助）と地域生活支援事業の移動支援を利用した。行き先を自ら選択し、決めてもらうことで自己決定する力を養えるよう努めた。利用にあたっては、法人の介護派遣事業所「ステップ」よりヘルパーを派遣した。

地域交流・イベント

イベントや地域行事などを積極的に実施した。通所先や区内の事業所との連携深めるため、通所先との情報交換会やぼけっこの職員が世話人役を務める「新宿知的障害児者事業所連絡会」へ参加した。支援者の質向上のため、常勤職員間の情報交換、または意見交換は週に1度行い非常勤職員も含めた情報交換会は、半年に1回の計2回実施し、スキルアップを図った。

(6) 居宅介護・移動支援事業「ステップ」

【運営方針】

地域生活を送る上で必要なケアを提供し、笑顔の絶えないクオリティの高い生活環境を実現できるように支援します。

○実施報告

ステップは、平成23年度3月31日をもって事業廃止し、障害福祉サービスを利用している方々は、従来どおりの継続したサービスを受けることができるようNPO法人フットワーク新宿にすべての利用者、すべてのサービスを移管した。

職員配置

平成23年3月末実績

部署	職 種	人数	内訳 (人)			
			常勤		備考	
・居宅介護 ・重度訪問介護 ・移動介護	管理者	1	1	0	すべての職員は、「居宅介護・重度訪問介護」、「移動支援事業」を兼務。	
	サービス提供責任者	5	5	0		
	訪問 介護員	介護福祉士	0	0		0
		ヘルパー1級	0	0		0
		ヘルパー2級	58	0		58
経理、庶務	1	0	1			
	合計	66	6	59		

提供実績

平成23年度実績集計

事業	利用定員	提供時間
障害福祉サービス 居宅介護・ 重度訪問介護	身体介護 13名 (延べ人数 143名) 家事援助 2名 (延べ人数 16名) 通院介護 17名 (延べ人数 114名) 重度訪問介護 0名 (延べ人数 0名)	身体介護 17,387時間 家事援助 451時間 通院介護 267.5時間 重度訪問介護 0時間
地域生活支援事業 移動支援事業	23名 (延べ人数 248名)	4,794時間